とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年8月4日（月）
クラス名（年齢）	たんぽぽ組（2歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

・ヒヨドリのひなが孵ったよ

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・５月後半、クラスの小窓から見える木にハトが巣を作り卵を温めていた。毎日皆でその姿を見て卵が孵ることをことを楽しみに見ていたが、いつの間にか親鳥の姿も卵もなくなってしまった。７月に入り階段の小窓から見える木にヒヨドリのひなが孵った。毎日皆で気にかけて見ていた。

2、活動スケジュール

・階段の上り下り時に見たり、数人ずつで様子を見に行く。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・数人で見に行く時間を作り、抱っこをして見やすい所から見られるようにしたり、ひなの鳴き声を聞きに行く。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・ひなの姿を見たり鳴き声を聞いて子どもから出る言葉を大切にした。
・「かわいいね」とずっと見ている子には何度も一緒に見に行きひなの成長を感じられるようにした。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・５月、クラスの小窓から見える木にハトが枝にとまっているのを子どもが見つけ、よく見てみると巣があった。「見えた」「ぽっぽちゃん卵温めてるんだって」と友達と会話をしながら見ていた。 ・卵が孵ることなくいつの間にか親鳥の姿も見なくなり、「いなくなっちゃったね」と気にする姿もあった。 ・７月、階段の貼り紙でヒヨドリの巣があることに気がつき、「どこ？」「見えないよ」等興味を持ち窓を覗くようになる。 ・ひなが孵ると保育者に抱っこをしてもらい見やすい角度から見て、「いたよ」「口が空いてる」「かわいい…」となかなか見ることのないひなを見て思ったことを口にする。 ・ある日突然巣立ったと貼り紙に書いてあり、「大きくなったから自分で飛んで新しいお家に行ったよ」と保育者に言われると理解はまだ難しいようだったが、「お母さんと一緒かな…」と心配そうにつぶやいていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・５月のハトの巣はひなが孵ることがなく、子ども達には「お引越ししたのかね」と伝える事しかできなかった。2歳児への説明の仕方に悩んでしまった。そんな中７月にまた鳥の巣ができ、ひなが孵り巣立つという成鳥の過程を見る事ができ子ども達の中でひなに対する愛おしい気持ちが持てたことに嬉しく感じた。鳴き声も聞ける距離だったのでさらに生きているひなを感じる事ができていた。